

とよなかの市民活動

共同デスク

2018年3月発行第23号

とよなかの市民活動・共同デスク実行委員会

(社福) 豊中市社会福祉協議会
 (一財) とよなか男女共同参画推進財団
 とよなか市民公益活動協議体らっぷ
 (特活) とよなか市民環境会議アジェンダ 21
 (公財) 豊中市スポーツ振興事業団
 (公財) とよなか国際交流協会 (第23号担当)
 TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

2017年度ふりかえりとこれから



とよなか市民公益活動協議体・らっぷ

団体の自立発展と若者のボランティア活動をサポート

2017年度は市民活動団体の自立的発展をサポートする新たな取り組みとして、「豊中まつり」チャレンジブースへの出店をおこないました。各団体が事業計画を練り工夫を凝らした出店により、約15万人が来場するまつり会場で活動資金の獲得や他団体との交流、活動PRをおこなうことができました。また、主に高校生を対象におこなっている市民活動団体や市内施設へのボランティアマッチング事業も3年目を迎え、相談件数や実施件数も年々増えています。例えば千里コラボ屋上庭園の作業や科学実験教室の補助、市民活動団体が運営する学童保育や学習塾などでの遊び相手や学習補助、豊中まつりなどのイベントスタッフ、竹林保全活動、点字ブロックのルート調査、図書館の書架整理など、若い人たちに市民活動を身近に感じてもらえるよう、一年を通してさまざまなボランティアを紹介しています。2018年度も市民公益活動をより多くの人に知ってもらえる機会をつくり、また団体が自立発展できるようサポートしていききたいと思います。



豊中まつりチャレンジブースと高校生ボランティアの様子

(公財) とよなか国際交流協会

今年 設立25周年を迎えます!



2017年度は、これまでの事業に加え、「千里にほんご」「Filipino Young at Heart's Club」(40歳以上のフィリピン人対象のコミュニティ活動)「離婚に関する一日電話相談会」「学びほくしセミナー オキナワ編」「外国にルーツをもつ子どもたちの現状と課題に関するシンポジウム」「EPA介護福祉士候補生を対象とした日本語指導」などを実施しました。また、協会事業だけでなくセンターで活動している人や登録団体の様子も伝わるように、9月からセンターお知らせの内容、レイアウトも変えました。



毎年事業評価会でボランティアが集まって振り返りをします。2017年度の様子

今年、とよなか国際交流協会は設立25周年です。『多様な文化や人が尊重される豊かで魅力あるまちづくり』を実現するためには中間支援組織同士の繋がりはもちろん、豊中市、市民ボランティアや市民団体、外国人コミュニティとの協働が欠かせません。情報共有・対話を大切に事業を進めていきたいと思います。外国人市民を含む幅広い皆さんと共に、国際交流と多文化共生の拠点として、誰もが安全で安心して暮らせる地域社会づくりをめざしていきます。



(一財) とよなか男女共同参画推進財団

「自分らしく」をもっと身近に

すてっぷは男女共同参画をわかりやすく伝えるために、「女性らしく」より「自分らしく」をテーマにした取り組みを進めてきました。6月にはシンプルな暮らしを実践している稲垣えみ子さんを、3月には落語家の露の団姫さんをお迎えして「自分らしく」をテーマに講演会を開催。その他、若年代やシングル女性の生きづらさなどを社会課題として大人女子服交流会や、助成金事業も進めています。女性の社会進出の点では起業支援や再就職支援も多数実施しました。すべての女性が、「女性」であることにとらわれず、「自分らしく」生きるためには女性に対する暴力の防止も欠かせません。これからも、誰もが安心して「自分らしく」生きることを当たり前にする社会をめざします。



起業支援からスタートした女性のワンテュブルショップ



3月のすてっぷフェスタの露の団姫さん

(公財) 豊中市スポーツ振興事業団

とよすぽ 2017年度ふりかえりとこれから



2017年度は事業団設立30周年を迎えることができました。30周年記念イベントでは500人以上の方とラジオ体操を実施しました。また、今年度はサポートが必要な方がスポーツに親しんでいただけるイベント『障がい児対象ダンスイベント』や『障がい児親子水泳教室』また、障がい者スポーツを知っていただくための『障がい者スポーツ体験会』を開催しました。

来年度は、新たに子ども向け武道イベント「チャンバラフェスティバル」を企画しています。

その他にも、豊中市教育委員会や豊中市スポーツ少年団などとも連携し、子どもたちのスポーツ活動を応援する事業にも力を入れていきたいと考えています。

今後も、世代を超えてスポーツに親しめる事業、スポーツへの関心を高める事業を実施しますので、楽しみにしてください。



500人でラジオ体操の様子

(特活) とよなか市民環境会議アジェンダ 21

環境交流センター2期と「第3次豊中アジェンダ21」がスタートします



とよなか市民環境会議アジェンダ21は、2013年4月1日より「環境交流センター」の指定管理を行ってまいりましたが、これまでの実績が評価され、2期目(2018年4月1日から2023年3月31日)も引き続き、センターの管理・運営を行うこととなりました。2期目は「誰もが集える交流空間から」「気づきから実践に向けて」「地域と共に歩む施設へ」をコンセプトに、豊中の環境活動の促進に取り組みます。2017年度はキッズコーナーや図書・資料室の見直しなど基盤の拡充に取り組んできましたが、2018年度はエシカルマーケットの開催や親子を対象とした3Rの仕組みに力をいれていきます。

なお、当団体は、2016年度より「第3次豊中アジェンダ21」策定に向けた市民ワークショップを開き、意見を集めてきました。2018年度は、これらの意見を元にした、地球環境を守る市民・事業者の行動計画が6月下旬にスタートします。冊子の配布も行いますのでぜひご覧下さい。



市民ワークショップ

(社福) 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンター開設30周年・ボランティア団体連絡会設立25周年を記念して「豊中ボランティアフェスティバル」を開催しました



昭和63年に社会福祉協議会において、ボランティア登録・派遣事業を開始して30年、そしてその5年後の平成4年に市社協ボランティア団体連絡会が結成されました。その節目を記念して去る3月3日(土)に豊中市立文化芸術センターにおいて、「第25回豊中ボランティアフェスティバル」が開催されました。

約700名の来場者があり、日々のボランティア活動をステージで発表したり、体験コーナーなどを設けて、知ってもらおうきっかけとなりました。

また、記念ステージでは、30年を写真で振り返ったり、大阪大学男声合唱団と大阪音楽大学大学院生と共演し会場の観客とともに「花は咲く」を歌いながら次代へのメッセージを映像で流すなどし、ボランティア活動されている市民の想いを共有することができました。

ほかに、被災地支援コーナーでは特別展示で陸前高田市田崎飛鳥さんによる絵画展示し、東日本大震災への継続した支援の大切さに思いを寄せました。

ボランティアセンターは「こどもの学習支援」「災害支援」など、学生など若い人たちの登録も広がっています。今後も時代に則したニーズに対応する活動と市民をマッチングできるセンターを目指していきます。

